



RI会長 レイ・クリンギンスミス

第2790地区ガバナー

織田 吉郎

第5分区ガバナー補佐

佐野 昭雄

第5分区幹事

鈴木 照夫

第2790地区地区委員

広報・IT委員会

勝浦RC 千葉 正徳

クラブ研修委員会

館山RC 川名 光俊

環境委員会

館山RC 吉田 政紀

R財団寄付金小委員会

鴨川RC 伊藤 正人

勝浦ロータリークラブ

会長

関 一憲

幹事

中村 満

クラブ会報委員長

渡邊 ヒロ子

副委員長

渡邊 昌俊

委員

牧野 利美

前田 安彦

関 正夫

斎藤 麻美子

### 4月22日(金)のプログラム

- ・ ゲスト卓話：手塚幸夫氏

### 本日(5/6)のプログラム

- ・ 各委員会(バズセッション)

### 今後の例会プログラム

- ・ 5/13(金)地区協議会報告
- ・ 5/20(金)会員卓話
- ・ (西川佳璋君)
- ・ 5/24(火)千倉・鴨川3クラブ  
合同例会及び車中臨時理事会
- ・ 5/27(金)合同例会に振替
- ・ 6/3(金)会員卓話
- ・ 6/10(金)各委員会報告

### 会長挨拶 関一憲会長

本日は会長が成田ロータリー・クラブの50周年行事に出席された為、会長代理です。この17日、日曜日、館山RC創立55周年記念例会に、当勝浦RCより十数名の会員が出席いたしました。

館山RCは、5分区6クラブの中で一番早く

創設され鴨川RC、そして我が勝浦RCの生みの親と聞いております。

本来、55周年記念式典を行う予定がこの東日本大震災を悼み、式典を自粛し簡素化した記念例会に振り替えたとの事でした。それに依って、浮いた予算の一部を、市を通じて日赤に義捐金として送ったとの事でした。その額百万円との事です。新聞にも載ったそうです。それぞれのクラブが、何らかの方法で被災地域のことを考え、知恵を絞って支援されていることを痛感いたしました。

新聞にこそ載らなかったけれども我が勝浦RCは震災の後の理事会に於いて空かさず即決にて百万円の義捐金を決め、即日幹事がガバナー事務所へ送金したのを今更のように良くやったな、と熱いものを感じました。会長以下理事役員は多分、会員から後で文句が出るだろうと覚悟の上だったと思います。しかし、その裏では勝浦ロータリー・クラブの会員の気質はそんなものではないと信じていた事と、その気になれば百万位何とかなるさと、これが勝浦RCの良いところですね。(現時点で80万円集まる)また知るところでは、文句の一つも出なかったようです。

話は戻り、館山のリーダーにお迎えしたパストガバナーの土屋良平氏、初老の小柄な方で、起伏のない淡々としたお話でしたが、明治の開国間もない日本に上陸した一人のイギリス人女性探検家が一人旅をした時、日本人の印象を、「一般に礼儀正しく、誠実で金銭にいやしくなかった。また、強い責任感を持った律儀な民族」と評価していた。かつて日本の文化は「恥の文化」また、「君子」の生き方をすることに美学を感じていた事を思うと誇らしく感じます。また、尚、この品格が今なお生き続けていることを、今回の1000年に一度といわれている東日本大震災をめぐって日本人の責任感、義務感に加えて沈着冷静さへの驚きと賛辞が、各国から寄せられている。などのお話でした。これをすべて解説しますと一時間は優に必要ですので、詳しくは土屋良平氏の「ロータリーの心」を回覧いたします。

ところで、24日の日曜日は、次年度2011~2012年の地区協議会です、これは次年度2790地区84クラブの委員長方が一同に集まり次年度の方針、また役割、役目などを各部会に分かれ、説明或いは学ぶ場であります。出席される方々には、日曜日早朝からの出発になりますが、どうぞ宜しくお願いいたします。また、会議終了後、勝浦に戻り次第、新委員長会議となりますので、併せて該当者の方々は宜しくお願いいたします。





**幹事報告 中村満幹事**

地区・東日本大震災被災者支援委員会設立のお知らせ  
 5月ロータリーレートは1ドル82円(国際RCから)  
 本日成田RC55周年に関会長、鈴木(覺)、岩瀬、古川  
 会員が出席しています。  
 館山RC様から先日の例会記念の礼状が届きました。

**委員会報告**

**社会奉仕 釜田英之 担当理事**

インターアクトから...この震災につ  
 きまして、5月2日に地区内イン  
 ターアクトの会員(勝浦高校も参加)が、千葉駅周辺で募  
 金活動を行い、お立ち寄りの際は、ご協力お願い致します。



**ロータリー財団 齋藤義典委員長**

ご寄付のお願いです。今週から始め  
 再来週で締切りしたいと思いますので  
 どうぞよろしくお願い致します。



**ニコニコBOX(中村昇 親睦委員長)**

**結婚記念日 関正夫君**

39回目です。足が衰えないように、  
 先日女房と鴨川の水源になっている  
 保台ダムから元清澄までのコースを行  
 きましたが、残念ながら到達できず、  
 翌週に再チャレンジをして無事登ってきました。



**出席報告 4/22(金)出席委員会(関祐介委員長)**

会員	出席	MU	欠席	出席率
40名	23名	8名	9名	77.5%

**欠席:** 浅野玄航・内田秀実・斎藤豊久・高橋奈緒美  
 高山裕紹・西尾誠・前田安彦・吉野裕子  
 渡辺保

**自主申告 釜田英之 君**

義捐金のお願いを申し上げましたが、  
 当初の目標を達成できました。本当に  
 ありがとうございました。感謝の気持  
 ちで1口入れさせていただきます。



もう1点は、勝浦の星になってくれと期待していた広島  
 カーブの丸選手は盗塁王も狙える足も持っているし、こ  
 こ3連戦でホームランを2本打ち4割何分、何とかレギ  
 ュラーにくだり込んでもらいたいな、と思います。皆さん  
 も広島丸選手を応援してください。

**ゲスト卓話:手塚幸夫氏**

手塚氏は、大多喜高校の生物教師  
 であると共に自然保護活動、音楽や  
 お芝居などいろいろなイベントを  
 企画し多方面で活躍している方です。



全国初策定の『生物多様性ちば県戦略』

地球温暖化と生物多様性を一体的にとらえる視点

千葉の生物多様性保全・再生の現場は里山

里山のシンボルとしての谷津

伝統的な谷津の景観・構造と農林地復元の話

谷津の再生と循環型社会形成の関係

について、お話と実際の取り組みについて伺いました。  
 谷津田とは、里山の合間に扇状に広がった土地で、昔  
 は水田耕作が普通に行われた場所を指すそうです。  
 手塚氏は御宿町の実谷で谷津田の再生事業を実施し、『生  
 物多様性』の重要性を、およそ20年前から伝え続けてき  
 ました。実谷で“人が集まる場所をつくろう”と呼びか  
 け、20年放棄された土地を草刈し、斜面を復元して森  
 に光を入れ、さらに水田を復元する。その声かけに参加  
 した大人も子どもも作業の中で土や自然に触れる喜びを  
 感じ、満足の笑顔が溢れているそうです。『谷津には、山  
 と森があって、斜面があって、湧き水が流れる。ここには  
 “里山の賑わい”があるです。ここで作業に参加する  
 と、耕す?というよりどろんこ遊びをする子ども達も、  
 初めは小言を言っていた大人たちも皆、笑顔になるん  
 です。』と話す手塚氏も穏やかな笑顔でした。そこには昔の  
 日本人が大切にしてきた伝統文化があり、みんながそこ  
 に気づいて積極的に参加していくべきだと知りました。